

積極的な設備投資や人材育成を継続 特殊印刷のパイオニアとしての地位を確立

1974年、県内の印刷業者5社により「サツマ特殊製版協同組合」を設立し、1977年に完全協業化により本組合に組織変更。積極的な設備投資や人材育成により、紙以外の素材への印刷や「レンチキュラー印刷」といった高品質な特殊印刷を多く手掛け、デジタル化をはじめとする時代の変化にいち早く対応している。2019年には、敷地面積約9,400平米の広大な新本社工場が完成。

●所在地 鹿児島県日置市伊集院町郡2042-39

●電話/FAX 099-813-7213/099-813-7214

●URL <http://www.unicolor.jp/>

●代表者 理事長 岩重 昌勝

●設立 1974年

●資本金 2,880万円

●従業員数 77人



特殊印刷分野のパイオニアとして高い商品訴求力を実現

国内に数台しかない特殊な印刷機に独自改良を加え、LED UVオフセット印刷、レンチキュラー印刷、疑似エンボス印刷等全国でも例がない特殊印刷分野のパイオニアとしての地位を確立。従来の印刷物では十分に伝えることができなかった高級感等がアピールでき、大手企業からの受注獲得につながっている。例えば、デジタルカメラのパッケージ印刷では、偽造品かを判別するポイントである微細なマイクロマークを正確に再現できる印刷技術により、継続的な取引につながっている。特殊印刷を中心とした積極的なオンリーワン戦略により、付加価値の高い印刷サービスを提供している。



最新鋭LED UVオフセット印刷機

新工場設立を機に業務効率化を推進

2019年の新本社工場の完成に伴い、製造だけでなく企画や事務部門も同建物内のワンフロアに集約、フリーアドレスオフィスを導入。職員はノートPCを持って空いているデスクで業務を行うことで、固定化したメンバー以外にも職位や部署を超えてスタッフ同士で交流が生まれる等、コミュニケーションの活性化が図られている。業務の「見える化」が進むことで、業務効率化を推進している。



各部門が集う新工場

補助金活用で新システムを導入、生産性が向上

特殊印刷は通常より高い品質水準を要求されるが、従前は1日平均約2万枚の印刷物の検品を3名体制で行っており、生産性の低下を招いていた。2018年度「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」を活用し印刷品質管理システムを導入。これまで目視で確認してきた非効率な検品工程が自動で識別可能となり生産性が向上。また、それまで検品工程に従事していた経験豊かなベテラン職員を他部門に配置する等、多能工化の推進にも寄与している。



印刷品質管理システム